



令和4年度 第9号 令和5年1月10日

鶴 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

スクールコンセプト

ともに夢と希望を育む鶴川内中

協 自 自
調 律 主

一 校 一 風

育てよう花と心と大きな夢を

校長室の窓から 「一年は正月にあり一生は今にあり」(正岡子規)

校長 井久保 康彦

新年あけまして おめでとうございます。昨年は、保護者の皆様、地域の皆様方に本校教育活動に対しまして物心両面から多くのご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年も、一つ一つの学校行事を大切にしながら生徒職員が一体となって、充実した教育活動になるように取り組んでいく所存であります。保護者、地域の皆様方から、ご支援とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

さて、冒頭の俳句は、「正岡 子規」が詠んだものですが、彼は、結核を患いながらも生涯にわたり 24,000 もの俳句を残した明治を代表する文学者の一人です。世間一般的に耳にする言い方だと「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。これは、新年を充実したものにするためには正月、つまり一年のスタートでどんな目標や計画を立てることが大切なのだという意味です。しかし、希望をもって新年をスタートしたとしても目標を達成できなかったり、失敗して途中であきらめてしまったりすることは往々にしてあります。うまくいかなかったりした時にこそ、やり直しや新しく始めることを先延ばしにせず、今からはじめることが大切だと子規は俳句に表現しました。つまり、人生を充実させるためには、「今」が大切だということです。

さあ、3学期が始まりました。生徒の皆さんにとっては、それぞれの学年の締めくくりの学期であるとともに、新学年への準備の学期でもあるため、次の学年の0学期と言われることもあります。

1年生の皆さんにとって去年の正月は、まだ小学生でした。真新しい制服に身を包み4月の入学式を迎えた初々しい表情のみなさんが、9 か月がたった今では別人のように、どこから見ても立派な中学生になりました。あと三か月もすれば、新入生が入学し、皆さんは先輩となります。後輩から「憧れられる」先輩になれるよう、3学期を2年生としての0学期のつもりで頑張りましょう。

次に2年生のみなさん。2学期後半以降、いろいろな責任や役割が、先輩方から皆さんに引き継がれ、新たな鶴中づくりを託されました。3年生が受験勉強に集中している今、皆さんが鶴中の中心となります。先輩が安心して卒業できるよう、力を発揮するとともに、3年生としての0学期のつもりで最上級生となる自覚を身に付けてください。

最後に、3年生の皆さん。この1年間、体育大会や文化祭、すべての面で、最上級生として安定感あふれるリーグシップで、活躍してくれました。大きな責任を果たせたことに自信と誇りをもって、人生最初の試練でもある高校入試を乗り越え、自分の進路を決定してください。旅立ちの時は間近です。中学生生活最後の3学期を高校生としての0学期のつもりで、残り少ない仲間との日々を大切にしながら、自分の人生を切り開いていく力を蓄えてほしいです。

全校生徒27人。この仲間と過ごせる時間もあとわずかです。3学期を終えるとき、それぞれが、「鶴中で過ごせてよかった」、「この仲間と出会えてよかった」と実感できるように「今」この時間を大切に過ごしていきましょう。新しい年の初めに昨年までの自分を振り返りながら目標や計画を立てて、「今」を大切に過ごしてほしいものです。

主な行事予定

月	日	曜	1月~2月前半の主な行事
1	14	土	立志式 立志記念遠行
	17	火	1.2年鹿児島学習定着度調査(~18)
	27	金	PTA 役員選出に係る話し合い
2	3	金	3年授業参観・学級PTA 学校運営協議会
	7	火	教育相談(~8)
	9	木	テスト前部活動停止(~15)
	10	金	SC来校(午後)
	14	火	学年末テスト(~16)
	17	金	PTA役員会
	21	火	1・2年授業参観・学級PTA

濱風ゆめみらい奨学金制度について
市で地方の医師不足の解消と海外の大学などに留学し知見を広めていただくことを目的に、医師となるため大学・大学院で医学を学ぶ人及び外国の大学などに留学する人に対し、奨学金(修学資金および入学一時金)の貸し付けを行っています。

2学期終業式 3学期始業式



いずれの式においても生徒が見直し、振り返り、つないだことを、自分の言葉で表現して、伝え、決意を新たにしました。

努力目標

3学期の目標を立て、新年の決意をしよう。

一事徹底

スコラ手帳を活用し、生活のリズムを整えよう。

3年幼児と触れ合う活動

12月5日(月)に、技術・家庭科(家庭分野)の授業で3年生が実習しました。



みどりが丘保育園に伺い、授業で自作したおもちゃで工夫しながら幼児とふれ合う体験をして、遊びの意義や関わり方を学びました。

市中学生会議

12月13日(火)に、市内の3つの中学校の生徒が集まり、会議が行われました。



5人の代表生徒が参加し、いじめ問題の取組状況とインターネットの共通実践事項と、県外の学校との交流について話し合いました。

1年 性に関する指導

12月16日(金)に、市の保健師、助産師さんに来ていただき、ご指導いただきました。



保健体育科の授業の一環として、性に関して、専門的な立場から生命の尊さ、互いに違いを認める大切さ等について学びました。

2年 がん教育

12月19日(月)に、NPO法人がんサポートかごしまの神田和恵先生に授業いただきました。



「がん」に関して、専門的な立場からがん向き合う方の思いや生き方を学び、自他の健康とこの世の大切さに気付くことができました。

★朝に希望 夕に感謝 平澤 興【元京都大学総長】

朝には、希望と張り合いをもって仕事をはじめ、夕には、その日の仕事を終わりに、感謝をもって、緊張をときほぐし、静かに喜びながら、万物を拝む気持ちになることです。今が楽しい。今がありがたい。今が喜びである。それが習慣となり、天性となるような生き方こそ最高です。お布施とは人に喜びを与えることです。今日一日の実行こそが、人生のすべてである。あなたは、あなた自身が知らない所の、数倍の隠れた素晴らしいものを心の中にもってある。とにかく、自信をもって堂々とおやりなさい。人に喜びを与えることが、最高である。感謝することが、喜びを与えることである。話を楽しく面白くする、それには多くの人の話をよく聴いてあげて、一層自己を深めることです。人間として成長するためなら、誰にも遠慮はいらぬ。生きるかぎり成長することです。善悪の心を超越して、あらゆるものに慈悲の心をもつ。そういう人になりたい。これは私の祈りである。

何よりも大切なことは、人を生かすことである。そして、その人に喜びと勇気と希望を与えることである。物事はただ考えただけでは未熟です。まだまだである。人生は本当に体験しなければ、わかったつもりでも本当にわかっていない。情熱は年齢ではなく、燃ゆる心の力である。情熱は喜びであり、希望があれば人は疲れぬ。幸福というものはいいことである。けれどもそれだけではいけない。できれば、高い夢がのぞましい。幸福で、幸福だけで、限りなく成長することは至難なことである。困難はその時には有り難くないが、これを活用し得る人にとっては、将来の大きな幸福への「チャンス」である。成長するためには、苦難が喜びであると思うようになることである。年をとり幾つになっても、成長してゆく人の顔には嫌味がありません。人は顔よりも、その人の体からしみ出る味わいで、その人物がわかる。賢い人は燃えることができない。燃えるためには愚かさがある。愚かさには力がある。本当に偉い人は、偉そうには言わぬ。相手を立ててあげて、そして談笑の間にその人を伸ばすようにする。これが出来なければ、本物ではない。人の悪口しか言えぬ人は、成長能力のない人であり、また人の短所しか見えない人は、成長がとまった人である。昨日のことは、もう過ぎたことだし、明日のことはわからぬ。今日一日をいかに生きるかが一大事である。

自ら燃える人は、人を燃やす力がある。思い切って遠慮せずに、人々に情熱を与えなさい。現在(只今の時)は、過去の終わりにあらずして、新しい将来への「スタート」であり、無限の可能性をはらむ自己完成への始めである。

今をどうするか。スコラ手帳を駆使して、時間を意識して過ごすことが増えたい。その時間を何のために使うか。どんなことにも使える時間に今すべきことは何かを考えたい。キラリと光るダイヤモンドのように輝く日々になるように、『今』を大切に過ごそう。そのことが高尚なる偽りなき人生を送り、一人一人の夢実現につながるはずだから。

受賞しました！おめでとうございます！

- 阿久根市英語唱歌・弁論大会 優秀賞 坂松 星空 (3) 宮前風綺夢 (2)
入賞 児玉 成海 (1) 道上 葉月 (1)
- “社会を明るくする運動”作文コンテスト県推進委員会委員長賞(最優秀賞) 奥園こゆき (3)
- 中学生の税についての作文 出水地区宅建業税務協議会会長賞 青木想玖星 (3)
- 薬物乱用防止啓発ポスターコンクール 入選 宮崎 智士 (3)

